

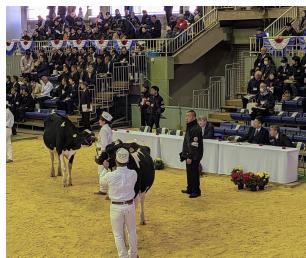


豊穣の秋が過ぎ 北海道は雪の季節をを迎えます

空知・留萌のたくさんの地域で収穫を祝うお祭りやイベントが開催されました。そして北海道は冬を迎えます

空知・留萌管内の多くの街や地域で、秋の収穫を祝うお祭りやイベントが多数開催されました。特色のあるステージや地域の食材が参加の皆さんを魅了し、楽しそうな声と笑顔が北海道の短い秋を彩っていました。神谷ひろし衆議も多くのイベントにご招待を頂き皆さんと楽しく交流をさせて頂きました。地域の歴史を学び、また将来に向けた熱い想いを語り合いながらとても有意義な時間を過ごす事が出来ました。皆様ありがとうございます。

そして季節は豊穣の秋から厳しい冬を迎えます。お米・野菜・果物・水産物。豊かな実りは、厳しい季節に向けての大切な蓄えでもあります。私たちの暮らしも厳しい時期が長く続いています。立憲民主党、そして衆議院議員神谷ひろしは、皆様の暮らしをしっかりと支えることが出来るようご意見を頂き応えていけるように頑張ってまいります。



立憲民主党 新たな「次の内閣」のメンバー発表

9月30日 第137回常任幹事会にて、神谷ひろし衆議、岸まきこ参議らが次の内閣メンバーに



立憲民主党は、野田「次の内閣」第29回閣議を国会内で開催しました。本庄知史ネクスト内閣官房長官（政調会長）を中心にネクスト大臣が全て交代、新たな布陣となって初めての閣議となります。冒頭あいさつで野田佳彦代表は、今回の顔ぶれを「政策づくりに中核的な仕事をしてきた実務派」と評した上で「次期臨時国会や来年の通常国会は立憲民主党の真価が問われる正念場」「国民に届く政策をつくり、法案審査に臨む。これを反復しながらわれわれの底力を高めていきたい」と協力を呼びかけました。なお、神谷ひろし衆議がネクスト農水大臣に選任されたほか、北海道選出国会議員からはネクスト文科大臣として荒井優衆議、ネクストデジタル地方創生担当大臣として岸まきこ参議、ネクスト内閣官房副長官として徳永エリ参議山岡達丸衆議がそれぞれ選任されています。

立憲民主党 野田「次の内閣」2025年9月30日

ネクスト内閣総理大臣 野田佳彦
ネクスト総務・政治改革担当大臣 山花郁夫
ネクスト法務・外国人政策担当大臣 黒岩宇洋
ネクスト外務・拉致問題担当大臣 源馬謙太郎
ネクスト財務金融大臣 稲富修二
ネクスト文部科学大臣 荒井優
ネクスト厚生労働大臣 小西洋之
ネクスト農林水産大臣 神谷裕
ネクスト経済産業大臣 古賀之士
ネクスト国土交通大臣 白石洋一
ネクスト環境大臣 森田俊和
ネクスト防衛大臣 篠原豪
ネクスト内閣官房長官 本庄知史
ネクスト国務大臣（内閣部門総括等） 森山浩行
ネクスト国務大臣（公文書管理等） 川内博史
ネクスト国務大臣（ジェンダー等） 塩田あやか
ネクスト国務大臣（こども政策等） 酒井なつみ
ネクスト復興・福島再生大臣 錦田さゆり
ネクストデジタル・地方創生担当大臣 岸真紀子
ネクスト内閣官房副長官 城井崇
ネクスト内閣官房副長官 徳永エリ
ネクスト内閣官房副長官 山岡達丸
ネクスト内閣官房副長官 井坂信彦

立憲民主党北海道総支部連合会 新体制発足

「第7回臨時大会」を開催、役員体制の変更を行い更なる党勢拡大に挑みます

立憲民主党北海道総支部連合会は、逢坂誠二前代表の退任に伴い新しい代表を選出するための「第7回臨時大会」を開催しました。競技の結果、勝部賢志参議院議員が新代表に承認・選出され、その後、役員指名の提案・承認によって新たな常任幹事会体制が確認されました。勝部新代表は「政党にとって一番大事なのは、政策を一つずつ実現することと選挙に勝つこと。選挙に勝つためには日常の活動が大事。一番近いところで互いの気持ちが合わなければ、多くの人を取り込むことはできない。皆さんのが一つになって様々な取り組みに全力を尽くすようお互いの力の結集をお願いする。統一自治体選挙では一人でも仲間を多くし、その熱で多くの有権者と一緒に立憲民主党を前に進めて行きたい」と決意を表明されました。最後にガンバロー三唱で意思統一が行われ、新しい立憲民主党北海道の活動がスタートいたしました。なお、10区総支部からは中川浩利 北海道議会議員と田畠陽美 深川市議会議員が常任幹事として選出されています。



野生動物による一次産業被害に対応するために

立憲民主党北海道総支部連合会 「2025エゾシカ政策対策本部」を設置

北海道の野生鳥獣による農林水産業の被害額は2023年調べで63億6900万円。前年比で5億円以上の増加となっており、たいへん大きな問題となっています。特にエゾシカによる被害は約51億円に上り、全体の8割以上を占める深刻な状況です。立憲民主党北海道では「2025エゾシカ政策対策本部」（逢坂誠二本部長・神谷ひろし事務局長）を設置し北海道環境部や農政部との意見交換を開催。また、浦臼町のジビエ処理加工センターの視察など調査活動を行って参りました。駆除だけではなく地域資源としての利活用という観点を含め、他の鳥獣対策にも応用可能なスキームの確立を目指し、総合的な政策展開をめざして活動を行ってまいります。



深刻化するクマ被害に対応するために

立憲民主党 農林水産省・環境省にクマ被害対策を求める要請

連日のようにクマ被害が報告され、地域によっては夜間の外出を控え、教育現場では登下校に送迎が必要となるなど、深刻な影響を及ぼしています。これまでにもハンターの高齢化や里山などの緩衝地帯の劣化など問題が指摘されてきましたが、これらは地方だけの課題ではなく、国による主導的・抜本的な対策が求められています。立憲民主党はこうした現状を踏まえ、緊急対応体制の強化や出没防止策の徹底、人材育成や予算の確保などについて要請しました。神谷ひろし衆議も農林水産部門長として要請に参加しています。立憲民主党は人命等の被害防止と生態系保全の両立を目指し、引き続き取り組みを進めて参ります。



WEB LINK

神谷ひろし代議士の日々の活動や国会での質疑の様子をインターネットで紹介しています
右のQRコードをご利用ください。

X (Twitter)



facebook



YouTube



公式ホームページ



党員・サポーター登録



立憲民主党北海道第10区総支部

〒068-0024
岩見沢市4条西4丁目12番地
電話:0126-22-1100
FAX:0126-35-4569